

2022 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [豊橋中央高等学校] 担当教諭名 [味岡 優樹] (2年A組 21名)

相手国・地域 [台湾]

海外学校名 [National Shan-Hua Senior High School] 担当教諭名 [Chi-Chen Wu]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な探究の時間	修学旅行事前指導	4
	総合演習	総合演習	7
	外国語(英語)	英語コミュニケーションⅡ	4

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	世界遺産と平和
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	平和と国際協調によってのみ貴重な文化・自然遺産は次世代に受け継がれる。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
英語について理解を深めるきっかけとなった。 修学旅行で台湾に赴くことに対して意欲的になった。 (ただし、コロナ禍が収まらなかったため、台湾修学旅行は中止になった)	オンラインで対話するにあたり、学期のズレや時差があることで、開催期間(時間)が限られてしまう。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
オンラインで対話する際に、台湾の生徒たちが積極的に話しかけてきていた様子を見て、日本人がどれだけシャイであるかが実感できていた。	特に変化はありません。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	8月 ～ 10月	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 ユネスコ世界遺産について調べる ユネスコ世界遺産について発表する 	調べ学習は、空き時間を利用して行い、パワーポイントの作成に取り組んだ。発表も、役割を割り振って行った。	総合2
共有 相手と意見交換	11月	<ul style="list-style-type: none"> お互いの発表を視聴し意見交換をする グリーティングカードを交換する 	グリーティングカード作成時に、自分の考えを表現できるよう、ネイティブの先生に質問をした。	総合1 英語4
融合 メッセージ作成	11月	<ul style="list-style-type: none"> メッセージを決定する 壁画のデザインを決定する 	台湾とは漢字を共有しているが、日本の「平和」が中国語では「和平」になるなど、異なる点もあるという発見があった。壁画のデザインにも盛り込んだ。	総合1
創造 壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> 壁画を制作する 半分完成した壁画を披露する 	授業後の隙間時間を利用して積極的に制作に取り組んだ。	演習7
評価 振り返り 自己評価	3月	<ul style="list-style-type: none"> 完成した壁画を全校生徒に披露し、活動を報告する(ESD振り返り会) 	実際に台湾に行けなかったのは残念だったが、国際交流ができたことには満足していた。	行事

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	4	外国籍の生徒はいるが、それでもその子は“日本人”なので、感性の違いを感じ取ることができたため。
主体的に考え行動する力	3	もともと持ち合わせていた力なので、この評価にした。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	1	相手からの発信を批判的に受け止めるようなやりとりをしていないので、評価できない。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	オンラインで対話することを通じて、英語を使った会話を経験できた。また、自分の思いを乗せながら物事を説明するために、英作文をすることができたため。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	3	下描きをするにあたり、生徒の画力の不足分を美術教師が補ってくれた。生徒の中に制作した実感はあるが、そのような力がついたかは判断できない。